

レジメン名 R-FCM

出典 Blood 2004;104:3064-3071
 リツキシマブBS点滴静注「ファイザー」添付文書
 2021年11月改訂

実施部署区分
入院 外来 処置

対象疾患
 低悪性度B細胞性リンパ腫
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他			

1クール期間 28日 総クール数 4
 (次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

WBC	1000/mm ³ 未満*	PLT	2.5万/mm ³ 未満*
		Hb	6.5g/dL未満*
その他	※出典に中止基準ないため、Grade4の血液毒性を中止基準とした。		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
リツキシマブ	375mg/m ²	輸液 1-4mg/mLに希釈	初回は 50mg/hr から漸増 ^{※1}	d1
フルダラビン(フルダラ)	25mg/m ²	AQ2.5mL/Vで溶解 輸液100mLに希釈	30min	d2-4
シクロホスファミド(エンドキサン)	200mg/m ²	輸液250mL	4hr	d2-4
ミトキサントロン(ノバントロン)	8mg/m ²	輸液100mL	30min	d2

※1 初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。
 2回目以降、速度を選択することができる。
 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。
 ②臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm³未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。

1日投与順 (経時的にプレメディケーション・ホストメディケーション、 溶解液まで含む)
day1 ①ヒドロコルチゾン200mg+ポララミン5mg+生食50mL(30min) ②リツキシマブ375mg/m ² +生食適量(50mg/hrから漸増 ^{※1}) ③生食50mL(フラッシュ用)
day2 ①グラニセトロン3mg/バッグ(15-30min) ②フルダラ25mg/m ² +注射用水2.5mL/V(溶解)+生食100mL(30min) ③エンドキサン200mg/m ² +生食250mL(4hr) ④ノバントロン8mg/m ² +生食100mL(30min) ⑤生食50mL(フラッシュ用)
day3-4 ①グラニセトロン3mg/バッグ(15-30min) ②フルダラ25mg/m ² +生食100mL(30min) ③エンドキサン200mg/m ² +生食250mL(4hr) ④生食50mL(フラッシュ用)